

様式③-1

平成29年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(継続事業): 事業地区・箇所別概要(1)

1 事業の基本データ

①計画事業名	事業CODE	事業名	地区・箇所・路線名
		街路事業	近鉄名古屋線川原町駅付近(連続立体交差)
②事業担当課	課CODE	担当課	担当班
	170120	都市政策課	街路・公園班
			電話番号
			059-224-2706
③事業施工場所	CODE	地域(市部・郡部/一般・準過疎・過疎)	市町字名
	20	四日市 市部 一般	四日市市 滝川町・陶栄町
④事務事業名	街路事業		
⑤基本事業名	快適なまちづくりの推進(交)		
⑥公共事業評価システムにおける分野名	交通利便性の向上		

2 事業の概要

事業の概要			
仮線工	1式	事業採択	2006年度
鉄道高架化	680m	事業着工	2006年度
踏切除却	4箇所	事業完了	2017年度
交差道路整備	395m	供用開始	2018年度
側道整備	1155m	全体計画事業費(億円)	105.650
公園整備	2箇所	全体計画工期(年数)	12年
事業の目的			
近鉄名古屋線の川原町駅付近を連続立体交差化し、4箇所の踏切除却をすることにより、都市内交通の円滑化及び踏切事故の解消、鉄道高架化による市街地分断の解消を図るものである。			
隣接する土地区画整理事業、河川事業と一体的な整備により、安心安全でにぎわいと魅力のある地域形成を支援する。			

3 事業計画の進捗状況

評価実施年度	平成28年度	前回評価	
評価結果(優先度判定の結果)	I	特記事項	
事業進捗率	2015年度までの事業進捗率 77.2%	2016年度完了までの事業進捗率	84.1%
		実施済み総事業費(億円)	88.83
事業進捗率の算定式[進捗率=実施済み総事業費/計画事業費×100]			
仮線工	1式	交差道路整備	250m
鉄道高架化	340m		

4 公共事業の再評価実施の必要性

下記2基準に基づく今年度の再評価の必要性 (該当する項目の前に○印)		必要である
	○	必要でない
1. 三重県公共事業再評価実施要綱による対象事業判定(該当する項目にチェックする)		
<input type="checkbox"/>	①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業	
<input type="checkbox"/>	②事業採択後一定期間(5~10年)を経過した時点で継続中の事業	
<input type="checkbox"/>	③再評価実施後一定期間が経過している事業	
<input type="checkbox"/>	④社会経済状況の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業	
2. 公共事業の見直し基準による対象事業判定(該当する項目にチェックする)		
<input type="checkbox"/>	①社会経済情勢の変化により、住民ニーズ、事業の主目的が喪失したもの及び事業効果が著しく低下した事業 □事業の主な目的を喪失した事業 □需要量の大幅な減少や停滞、費用の大幅な増加等により、計画の必要性や効果について合理的な説明が困難となった事業	
<input type="checkbox"/>	②代替案検討の結果、代替案のほうが有利な事業 ・目的達成のため他の代替的手段の方が効率的・効果的な事業	
<input type="checkbox"/>	③事業採択から5年以上経過して、下記の理由等から事業進捗を図れない事業 □用地買収に対する反対等により、事業進捗が3年以上停滞しており、今後解決が見込めない事業 □主体となる関連他事業の事業計画の進捗が見込まれないため、当該事業の進捗が3年以上停滞している事業 (ただし、今後2年以内に関連他事業が伸展する場合はこの限りでないものとする)	

5 公共事業再評価審査委員会の結果

再評価審査の結果 (該当する項目の前に○印)	継続
	中止
再評価審査の結果概要	